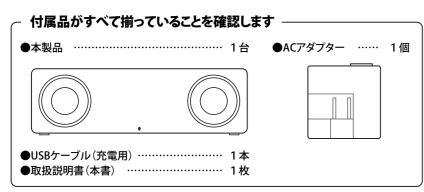
BUFFALO BSSP09B

取扱説明書

本書は、本製品の取扱いについて説明しております。
本製品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくご使用ください。また、裏面の注意事項も必ずお読みください。

付属品がすべて揃っていることを確認します

●本製品 ……………………… 1台　●ACアダプター …… 1個

●USBケーブル（充電用） ……… 1本
●取扱説明書（本書） ………… 1枚

本製品のPINコード（パスキー）は 0000 です。

製品仕様

項目	仕様
無線インターフェース	準拠規格：Bluetooth Ver.2.1+EDR Class1準拠 伝送方式：周波数ホッピング方式スペクトラム拡散（FS-SS）方式
対応プロファイル	A2DP（オーディオ） AVRCP（オーディオコントロール） HFP（ハンズフリー） HSP（ヘッドセット） ※SCMS-T（著作権保護技術）対応
対応機器	Bluetooth対応の機器（パソコン、携帯オーディオ、携帯電話） ※ 各プロファイルが対応していること、またはφ3.5mmステレオミニジャックを搭載した機器
送信周波数範囲	2.4GHz（2402〜2480MHz） ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
送信出力	最大100mW（class 1）
通信距離	約100m(使用環境によって異なります)
連続待受時間	最大約150時間（充電約4.5時間）
連続駆動時間	最大約5時間（内部バッテリー使用時）
動作環境	温度：5〜40℃、湿度：20〜80%（結露なきこと）
外形寸法	約123(W)×35(D)×36(H) mm（突起物含まず本体のみ）
重量	約110g（本体のみ）
スピーカーユニット	φ24mm/最大1W+1W
周波数帯域	200Hz〜16kHz

制限事項

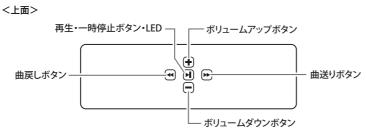
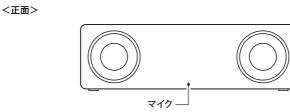
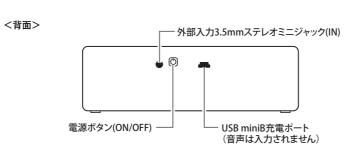
- 本製品の充電は、パソコン本体など300mA以上供給可能なUSBポートを持った製品から行ってください。
- 音声に関連するアプリケーション（Windows Messenger、Windows Media Playerなど）は、接続または切断する前に終了してください。該当するアプリケーションが動作していると、オーディオ入出力が正しく切り替わらない場合があります。スタンバイ、ハイバネーション、シャットダウン、Bluetoothデバイスの電源OFFまたは抜くなどの操作を行う前に、音声に関連するアプリケーションを終了し、本製品を切断してください。
- Windows Live Messengerでチャットをしている際、ハウリングが発生することがあります。その場合、チャットウィンドウのマイクの感度を下げるか、オーディオの設定を変更してください。

各部の名称

●本製品

<上面>

<正面>

<背面>

LEDの表示

状態	LED
有線接続時	青色が5秒おきに1回点滅
ペアリングモード	赤色と青色が交互に点滅
待機状態	青色が5秒おきに1回点滅
発信中	青色が5秒おきに1回点滅
着信中	青色がゆっくり点滅
通話中	青色が5秒おきに1回点滅
充電中	赤色が1回点滅後、点灯
電池残量70%以上	青色が2秒間点灯
電池残量55%以上	紫色が2秒間点灯
電池残量15%以上	赤色が2秒間点灯
電池残量15%以下	各種状態と同じパターンで、青色の代わりに赤色が点滅

イベント時の動作

イベント	LED	トーン
電源入れる	紫色が1.5秒点灯	だんだん高い音を出す
電源切れる	赤色が1.5秒点灯	だんだん低い音を出す
接続失敗	なし	1秒間の低い音
接続成功	なし	0.3秒間の高い音
リンク切断	赤色が0.2秒点灯	0.3秒間の低い音
通話終了	赤色が0.2秒点灯	0.3秒間の高い音

操作の一覧

動作	状態	操作
ペアリングモード	電源OFF	電源ボタンを5秒以上押し続ける
電源を入れる	電源OFF	電源ボタンを3秒以上押し続ける
電源を切る	電源ON、接続中、ペアリングモード	電源ボタンを3秒以上押し続ける
リダイヤル	待機状態	再生ボタンを素早く二回押す
ボイスダイヤルの起動/終了	待機状態	再生ボタンを2秒間押し続ける
受話	着信中	再生ボタンを短く押す
音声切り替え	着信中	再生ボタンを2秒以上押し続ける
着信拒否	着信中	再生ボタンを素早く二回押す
終話	発信中/通話中	再生ボタンを短く押す
音量を上げる	再生中	ボリュームアップボタンを押す
音量を下げる	再生中	ボリュームダウンボタンを押す
再生/一時停止	停止中/再生中	再生ボタンを短く押す
停止	再生中	再生ボタンを2秒間押し続ける
曲送り	再生中	曲送りボタンを押す
曲戻し	再生中	曲戻しボタンを押す
電池残量表示	着信中/発信中/通話中	電源ボタンを短く押す

※リダイヤル、ボイスダイヤル、音声切り替え、着信拒否に関してはHFPで接続時のみ動作します。

はじめにやっていただきたいこと

本製品をお使いになる前に、充電をしていただく必要があります。

<PC充電の場合>

① あらかじめパソコンの電源をONにしておいてください。
② 充電ポートに、付属のUSBケーブルを挿します。
ケーブルの反対側をパソコンのUSBポートに挿します。
③ 充電中は、LEDが赤に1回点滅後に点灯します。
④ 充電が完了すると、LEDは消灯します。ケーブルを抜いてください。

<ACアダプター充電の場合>

① ACアダプターをコンセントに差し込みます。
② 充電ポートに、付属のUSBケーブルを挿します。
ケーブルの反対側をACアダプターのUSBポートに挿します。
③ 充電中は、LEDが赤に1回点滅後に点灯します。
④ 充電が完了すると、LEDは消灯します。ケーブルを抜いてください。

注意
- **充電中は、本製品をご使用になれません。**
- **最初の充電には、約4.5時間かかります。導入後の日常の充電は、バッテリー残量によって異なります。**

警告
金属のものに近づけたり、バッテリーをショートさせると怪我や火災の元となります。絶対におやめください。
充電には、付属のUSBケーブルのみお使いください。他のケーブル、または充電機器でのご利用は保障しておりません。また、危険ですので絶対にお使いにならないでください。

パソコンでご利用の場合

1. 本製品の電源をオフにして、ペアリングを行うパソコンと本製品を1m以内の障害物のない状態にしてください。
2. 本製品の電源ボタンを5秒以上押し続けて、ペアリングモード（LEDが赤色と青色に交互に点滅）で起動します。
3. Bluetooth搭載のパソコンの付属マニュアルにしたがって、ご利用のBluetooth機器のペアリング（初期登録）を行ってください。
4. 認証用のパスキーが要求されましたら「0000」を入力してください。
5. 青色LEDと赤色LEDが交互に点灯する状態から、青色LEDが点滅する状態になりましたら、接続された状態です。

携帯電話でご利用の場合

1. 本製品の電源をオフにして、ペアリングを行う携帯電話と本製品を1m以内の障害物のない状態にしてください。
2. 本製品の電源ボタンを5秒以上押し続けて、ペアリングモード（LEDが赤色と青色に交互に点滅）で起動します。
3. Bluetooth搭載の携帯電話の付属マニュアルにしたがって、ご利用の携帯電話のペアリング（初期登録）を行ってください。
4. 携帯電話で認証用のパスキーが要求されましたら「0000」を入力してください。
5. 青色LEDと赤色LEDが交互に点灯する状態から、青色LEDが点滅する状態になりましたら、携帯電話と接続された状態です。
※ **携帯電話の機種によって、携帯電話側の表示方法は異なります。必ずご利用の携帯電話に付属のマニュアルをご参照ください。**

注意
弊社では、本製品と携帯電話との接続については、サポートを承っておりません。

よくあるご質問

SCMS-Tに対応していますか。
⇒ 本製品はSCMS-Tに対応していますが、音楽再生機器が対応していない場合、ワンセグ等の音声出力ができません。

充電時間はどの程度必要ですか。
⇒ 電池の状態によりますが、約4.5時間で充電完了となります。

充電しながら使用することができますか。
⇒ 充電しながらご使用はできません。

マルチペアリングに対応していますか。
⇒ 該当製品はマルチペアリング機能に対応しておりません。

Bluetooth Class2の機器と接続することができますか。
⇒ 接続することができます。Class1機器とClass2機器の接続時の通信距離などはClass2のものになります。

異なるバージョンのBluetooth機器と接続できますか。
⇒ 接続することができます。Bluetoothは下位互換となりますので、Bluetooth Ver2.0機器と接続したときの接続手順はBluetooth Ver2.0の接続手順となります。

使用時にノイズが発生する。
⇒ HFPやHSPでの接続は、A2DPやAVCRPでの接続よりも双方向通信のため、音質のレベルが下がっております。
無線ですので、電波の障害となる遮蔽物が間に入るとノイズの原因となります。

マイクより音声が入力されない。スピーカーより音声が出力されない。
⇒ Windowsのコントロールパネルより、オーディオとサウンドデバイスの設定にてBluetoothオーディオデバイスがミュートになっていたり、音量が下がっていないことを確認ください。
また、スピーカー本体のボリューム(+)を数回押して音量を上げてください。

携帯電話との接続で、音が途切れる、ノイズがひどい。
⇒ 本製品と接続した携帯電話を鞄の中に入れたり、ホルダー等を使用した場合、携帯電話の機種によっては、電波状態が悪化し音が途切れたり、ノイズが大きくなることがあります。

スピーカーが動作しなくなった。
⇒ 本製品の再起動を行ってください。再起動は電源ボタンを押した状態で充電を開始すると実行されます。

携帯電話の音楽が聴けない。
⇒ 携帯電話側が音楽用プロファイル(A2DP)に対応している必要があります。また、携帯電話と該当製品を音楽用プロファイル(A2DP)で接続する必要があります。(接続方法は携帯電話のマニュアルを参照ください。)

通話はできるが、ボタン操作ができない。
⇒ 接続プロファイルがHFPになっているかをご確認ください。HSPでつながっている場合はボタンによる操作ができません。

接続を完了しても、携帯電話から音声が出力される。
⇒ 携帯電話によっては対応しない機種もあります。(詳細は、弊社のWEBページの対応表をご確認ください。)
また、携帯電話の機種によっては設定画面や通話時に、手動でBluetoothスピーカーに切り替え操作をする必要があります。

Bluetooth関連用語

バージョン ････ Bluetoothはバージョンアップによって機能追加がされております。新しいバージョンでは、Bluetoothの通信速度向上や省電力モードの追加、ペアリングの簡略化など新機能が搭載されております。

クラス ･･････････ クラスはClass1〜Class3の3段階に分かれており、Classによって電波の出力が異なります。一般的にClass1の方が通信距離が長くなります。

ペアリング ･････ Bluetooth機器を接続するときの初回の登録動作です。Bluetoothでは通常、ペアリングが完了していないと機器を接続することができません。

PINコード（パスキー） ･････ Bluetooth機器を接続するときの認証用のパスワードです。製品によっては入力が不要であったり、キーの値が固定であったりします。

プロファイル ･･･ Bluetoothにおいて、機器の種類ごとに機能を標準化した接続規定をプロファイルと呼びます。接続機器双方が対象プロファイルに対応していると、そのプロファイルの機能を使用することができます。

HSP ･･････････････ Headset Profile。主にヘッドセットで使われるモノラル音声の受信とマイク入力の双方向通信に対応するプロファイルです。

HFP ･･････････････ Hands Free Profile。HSPの機能に加え、音声通話の発信や着信の機能などを持っております。

A2DP ････････ Advanced Audio Distribution Profile。ヘッドフォンやイヤフォンのためのプロファイルで、ステレオ音声でHSP・HFPと比べて高音質となります。

AVRCP ･･････ Audio/Video Remote Control Profile。再生・停止・曲送り・曲戻しなどAV機器の操作を制御するためのプロファイルです。

SCMS-T ････ デジタル録音機器に付加されているコピー防止(著作権保護)技術です。SCMS-Tに対応していない機器では、ワンセグなどの暗号化されたデータを再生することができません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障/トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

表示	意味
⚠ 危険	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の指示を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

記号	意味
△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容(例：感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 危険

- 禁止　**本製品を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本製品を加熱したりしないでください。**
破裂、発火や火傷の原因となります。
- 強制　**本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。**
目に障害を与える恐れがあります。
- 強制　**本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルを使用してください。**
- 禁止　**プラグ、ジャックの端子をショートさせないでください。**
発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやネックレス、ヘアピンなどの金属製品といっしょに携帯・保管しないでください。
- 禁止　**直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くでの使用または放置をしないでください。**
破裂、発火や火傷の原因となります。
- 分解禁止　**本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**
発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

⚠ 警告

- 強制　**本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。**
- 電源プラグを抜く　**液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求め販売店にご相談ください。
- 電源プラグを抜く　**煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコン及び周辺機器のスイッチOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求め販売店にご相談ください。
- 電源プラグを抜く　**本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントからACアダプターを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求め販売店にご相談ください。
- 強制　**接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用ください。**
付属品（または指定品）以外をご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。
- 水場での使用禁止　**風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないでください。**
火災になったり、感電する恐れがあります。
- 禁止　**濡れた手で本製品に触れないでください。**
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。
- 強制　**小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**
- 強制　**プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。**
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

- 強制　**パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーが定める手順に従ってください。**
- 強制　**静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。**
人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。
- 強制　**動作環境内（5℃〜40℃）でお使いください。**
低温時には、本製品（電池）の性能が低下することがあります。
- 強制　**本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。**
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 禁止　**次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。**
・強い磁界が発生するところ
・静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　→故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。
- 禁止　**シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。**
本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭きとってください。
- 強制　**充電が終わったら、ケーブルを抜いてください。**
- 強制　**本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。**
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
本製品には、リチウムポリマー電池(Li-Po)が使われています。
- 強制　**本製品は定期的に充電してください。**
本製品に内蔵されている電池の性能が劣化するのを防ぐことができます。

■電波に関する注意

●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
●本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
　・本製品を分解／改造すること
●本製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
●本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
　・産業・科学・医療用機器
　・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
　　①構内無線局（免許を要する無線局）
　　②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
　・AirStation製品、無線LANアダプター製品
　・無線機能を搭載したLinkStation、LinkTheater
　・アマチュア無線局
●本製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FH-SS方式
想定干渉距離	100m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避不可

お問い合わせ

お問い合わせについては、以下の順にてご確認いただきますようお願いいたします。
マニュアル（印刷物、添付 CD 等）をご確認ください。

弊社ホームページにて
最新 FAQ 情報、最新ドライバダウンロードをご確認ください。
ホームページ **http://buffalo-kokuyo.jp/support/**

上記で改善しない場合は、**テクニカルサポートセンター**へお問い合わせください。

Web でのお問い合わせ先
http://buffalo-kokuyo.jp/support/toiawase/

FAX でのお問い合わせ先
050 - 5805 - 9384

電話でのお問い合わせ先　※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。
050 - 3163 - 3177　月〜土（日・祭日、年末年始除く）9:30 〜 12:00 / 13:00 〜 18:00
※050 から始まる IP 電話を利用しています。

修理品の発送先(A)

<送付先>
〒470-1121　愛知県豊明市西川町島原1-1
バッファローコクヨサプライ　修理センター宛

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様が、この約款に規定された条項に同意頂けない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条（定義）
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書をいいます。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を作動させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障個所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理をお約束することをいいます。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であって、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障個所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売に際して梱包されたもののうち、本体部分をいい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条（無償保証）
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることがで [illegible]

株式会社 バッファローコクヨサプライ
BSSP09B 取扱説明書
第3版発行 2009/9/18
KM00-0085-03